



発行者

一般社団法人 静岡県珠算協会
公益社団法人
全国珠算教育連盟静岡県支部
(静岡市駿河区八幡2丁目)

発行人 松村 茂
編集人 山田 佳世
印刷所 やまだ印刷



新年のご挨拶

松村 茂



新しい年を迎え先生方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
二十七年半ばにし、お陰様で皆様のご理解、ご協力をいただきまして、諸行事を熟することができました。

しかしながら、なかなか思うようにならないのが、受験者数の増加の問題です。毎年度ごと、約5%減少の予算を組んでおります。勿論、これが続けば、と考えさせられる訳ですが、会員の減少も原因かと思いますが、小学校四年生迄導入された事を追い風と捉え、PR又ボランティア活動を充実させ、珠算学習の良さの周知を計りたいと考えます。

もう一つは、入会者の問題です。本部でも会員増加策『二年間、会費補助70% (五十歳未満)』という施策を取っております。もちろん支部でも同調しております。ぜひ各地区で候補者をリストアップし、勧誘の方法、また、PRの仕方を含め大きな問題と捉えデイスカッションをしていただきたいと思っています。

また、IT委員会も今年度より予算を組んで着々と進めておりますが、従来の手書き派の方々も大勢いらしゃいます。ですから、この問題も充分に考慮し進めている段階です。ぜひ、ご期待をして頂きたいと思っています。

私が以前より掲げていました『全日

本通信競技大会』の県下統一会場化の件ですが、現段階では、各地区を回り多数のご意見を伺い、競技部会に諮った結果、本来の趣旨である、幅広く多くの参加を得て行う唯一の全国区の大会である。これを重視する為に現状維持との結論に達しました。ぜひ、今以上の参加をお願いいたします。

思いがけないこともありました。会館の雨漏れの問題です。火災の時に改修はしたものの、本体の老朽化による雨道等が浮き彫りになってまいりました。専門家に原因究明をお願いし、改修の方向は取っておりますが、何年か先には、思い切った修繕が必要かとも思います。

その他、地区統合の問題の件でございますが、各地区から、ある程度の希望が無ければなかなか動けないのが現状です。代々の支部長が苦勞されたのもこれが一因かとも思われます。先に述べさせていただきましたが、各地区のご意見が非常におおきなものとなります。改めて各地区一丸となって諸問題の解決策を検討し、上程いただけたらと思います。

縷々申し上げましたが、本年も先生方、ご健勝にてご活躍していただける事、あらためてお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

平成二十七年 度

全日本通信珠算競技大会

競技部長 竹

静岡県大会 内史寿



平成二十七年 度全日本通信珠算競技大会が十月十八日(日)に開催されました。

静岡県では六会場では昨年比三十一名増の、五二二名、六九団体の参加、全国では九、四九三名、一、二二七団体の参加となりました。参加者数で見ると沖縄・広島・兵庫に次いで全国四番目の規模であり、年初より懸案となっておりました通信大会の会場統合案に關しまして、現在の方法が大会趣意書の「選手が居住地で参加できる方法」に合致するものとの方向性を確信することができました。

反面、全国でも稀な六会場での開催という形態は各地区の競技部員の先生をはじめ、会員各位に大きな負担をお掛けすることとなっておりますが、本年度も皆様のご協力のおかげで無事開催することができましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

静岡県大会の成績及び全国での団体、個人の入賞者は次の通りです。

平成二十七年 度 全日本通信珠算競技大会 静岡県大会 成績

〈個人総合競技〉 ※同点は同順位

静岡県大会

内史寿

▼三年生以下の部

一位	西崎 未佳捺	一二五〇点
二位	杉山 蒼詠	一一八〇点
三位	伊藤 倫	一一六〇点
四位	杉山 凛	一〇八〇点
五位	鈴木 汐莉	一〇五〇点
六位	北島 佑香	一〇四〇点
七位	金子 桃子	一〇三〇点
八位	河合 希杏	一〇一〇点
九位	蛭名 栄央	九九〇点
十位	久保田 裕葵	九八〇点

▼四年生の部

一位	馬場 ゆづき	一三六〇点
二位	植田 航成	一三三〇点
三位	中村 優衣	一二二〇点
四位	山崎 里紗	一一八〇点
五位	伊藤 菜々佳	一一八〇点
六位	松永 玲奈	一一七〇点
七位	青嶋 優	一一六〇点
八位	野呂 帆央	一一五〇点
九位	山本 愛助	一一五〇点
十位	池谷 かおり	一一四〇点

▼五年生の部

一位	松本 有理	一六六〇点
二位	島野 陽葵	一五二〇点
三位	有賀 愛華	一五〇〇点
四位	柴田 真衣	一四八〇点
五位	小林 さくら	一二九〇点

▼六年生の部

一位	野澤 優志	一六四〇点
二位	牧野 みのり	一四三〇点
三位	矢野 太騎	一四〇〇点
四位	成澤 茉由	一三六〇点
五位	堀江 謙斗	一三五〇点
六位	鈴木 結美子	一三四〇点
七位	土居 愛実	一三四〇点
八位	北嶋 嶺	一三四〇点
九位	高柳 音々	一三三〇点
十位	池谷 匡史	一三三〇点

▼中学校の部

一位	松本 康佑	一二七〇点
二位	鐵 駿也	一一九〇点
三位	清水 裕貴	一一八〇点
四位	望月 温人	一一一〇点
五位	夏目 実玖	一〇七〇点
六位	杉田 峻	一〇七〇点

▼高等学校の部

一位	大橋 明紘	一六一〇点
二位	密岡 聖	一五四〇点
三位	鐵 紀花	一五一〇点
四位	寺井 佐織	一二六〇点
五位	藤森 香奈	一二四〇点
六位	竹山 侑里	一二四〇点
七位	西尾 貞子	一八七〇点

▼四年生以下の部

一位	浜松市立雄踏小学校	三二一〇点
二位	浜松市立神久呂小学校	三一九〇点
三位	磐田市立青城小学校	三一四〇点
四位	浜松市立佐鳴台小学校	三〇二〇点
五位	静岡市立長田南小学校	二九八〇点
六位	浜松市立篠原小学校	二九五〇点
七位	伊東市立東小学校	二八五〇点
八位	静岡市立服織小学校	二六四〇点
九位	静岡市立西豊田小学校	二六二〇点
十位	藤枝市立青島小学校	二五四〇点

▼小学校の部

一位	浜松市立佐鳴台小学校	四一六〇点
二位	浜松市立新津小学校	三八九〇点
三位	浜松市立雄踏小学校	三八三〇点
四位	伊東市立東小学校	三八一〇点
五位	磐田市立青城小学校	三七七〇点
六位	浜松市立神久呂小学校	三七〇〇点
七位	浜松市立篠原小学校	三六六〇点
八位	静岡市立清水船越小学校	三五九〇点
九位	藤枝市立高洲南小学校	三五二〇点
十位	静岡市立服織小学校	三三九〇点

▼中学校の部

一位	静岡市立豊田中学校	三二九〇点
二位	浜松市立都田中学校	二九八〇点
三位	静岡市立城山中学校	二八六〇点
四位	長泉町立長泉中学校	二七一〇点
五位	浜松市立新津中学校	二五八〇点

▼高等学校の部

一位	静岡県立浜松商業高校	四〇九〇点
----	------------	-------

平成二十七年
全日本通信珠算競技大会
全国入賞者（静岡県大会関係）

二位 静岡県立磐田西高校 三七九〇点
三位 静岡県立浜松東高校 二四四〇点
四位 静岡県立袋井商業高校 二二八〇点
五位 静岡県立静岡商業高校 一八〇〇点

（個人総合競技）

▼小学校の部

九八位 松本 有理

▼高等学校の部

三六位 大橋 明紘
四五位 密岡 聖

▼一般の部

二〇位 西尾 貞子
四一位 大杉 麻実
四五位 齋藤 達彦

（団体総合競技）

▼四年生以下の部

七四位 浜松市立雄踏小学校

七五位 浜松市立神久呂小学校

八一位 磐田市立青城小学校

九八位 浜松市立佐鳴台小学校

▼小学校の部

三五位 浜松市立佐鳴台小学校

五四位 浜松市立新津小学校

六〇位 浜松市立雄踏小学校

六一位 伊東市立東小学校

六六位 磐田市立青城小学校

七五位 浜松市立神久呂小学校

七七位 浜松市立篠原小学校



平成二十七年 I.T. 委員会

I.T. 委員長 栗田 昭男



平成二十七年十一月七日（日）に平成二十七年 I.T. 委員会が開催された。

今年度より正式に予算化し徐々に進めていく方針である。概要として
①会員別の研修単位の集計表を作成し閲覧できるようにする。

②検定成績三級以上の電子化保存及びその閲覧。

③競技要綱及び成績保存。

④各種公式記録の電子保存等。

将来に向けてパソコンまたはスマートフォンからでも会員 I.D とパスワード（PW）を入力し閲覧できるようにしようという研究・開発していく予定である。現在まで、I.D・PW を入力すると会員専用メニューに入ることができ、そこから会員情報・各執行部や各

八四位 静岡市立清水船越小学校
九四位 藤枝市立高洲南小学校

▼中学校の部

三八位 静岡市立豊田中学校

六〇位 浜松市立都田中学校

七一位 静岡市立城山中学校

八五位 長泉町立長泉中学校

一〇〇位 浜松市立新津中学校

▼高等学校の部

九位 静岡県立浜松商業高校

一四位 静岡県立磐田西高校

三二位 静岡県立浜松東高校

三八位 静岡県立袋井商業高校

四三位 静岡県立静岡商業高校



委員会の情報が閲覧出来る。検定記録（現在三五回から三六回までの合格者登録が出来る。）の閲覧が出来るという所まで進んでいます。但し、パソコンやスマートフォンを使用していない会員でも情報公開は出来るようにしなければならぬと考えています。二十七年九月よりレンタルサーバーを契約し個々の会員の I.D と PW を作成中です。

以上、I.T. 委員会での進捗具合を報告致します。

全国珠算教育連盟・本県の委員紹介

研修学教委員をお受けして

中遠地区 高 梨 和 司



このたび全珠連本部の研修学教委員をお受けいたしました。二年前の第四回短期集中講座(現・人材育成講習会)を受講させていただいたことがきっかけで、かねてよりお世話になっていた澤田委員長よりお声がけいただきました。

これまでは補助委員として働かせていただいていたましたが、今年度からは正式な委員をさせていただくということで、身の引き締まる思いです。

研修学教委員会の子な仕事は、研究会の運営、人材育成講習会の運営、珠算春秋の編集と発行になります。

研究会では過去二回、舞台裏での音響・照明・演出のお手伝いをさせていただきました。舞台裏での仕事はこれまでも何回か経験がありましたが、

研究会は本部の一大イベントであり、失敗は許されません。二回とも大きな緊張感をもって臨んだことが記憶の中に強く残っています。

この原稿を書いている現在も、単発的に提案・企画させていただきました「珠算指導法に関するアンケート」の集計や珠算春秋の原稿の校正作業をしており、いよいよ正式な委員になったのだなという実感が湧いています。

まだまだ未熟者の私ですが、本部から与えられたチャンスを最大限に生かして勉強させていただき、珠算人として大きく成長していきたいと思ひます。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

広報委員をお受けして

静岡地区 村 上 知 子



この度、広報委員をお受けすることになりました。委員長であります静岡

地区の杉山忠郎先生よりお話をいただいた時は、半信半疑、未熟者の私が何

故?という気持ちで一杯でした。はたしてこの大役が自分に務まるのか?と。しかし、何事も前向きにチャレンジ、経験が自分を成長させてくれるだろうと考え、思い切ってお引き受けすることにしました。

広報委員の主な仕事をご紹介しますと、「全国珠算新聞」「全珠連会報」「その他PRポスター等」の内容検討および編集業務、全日本珠算選手権大会と全国珠算研究会での取材、ホームページ内容の検討などがあります。

広報委員会のメンバーは、委員長・杉山先生、副委員長・鈴木宗一先生(兵庫)、委員・川原井先生(栃木)、松岡先生(群馬)、村松先生(愛知)と私を含めて6名で構成されています。

早速、去る十月二十五日(日)、全珠連東京事務局にて、第一回広報委員会・全国珠算新聞編集会議が開催されました。先述の錚々たるメンバーの中へ飛び込むのは、勇気がいりました。

しかし、さすがに鋭い意見が飛び交い、参考になることが多い会議でした。こうして編集に少しでも携わった全国珠算新聞の平成二十八年一月号。見るのが楽しみになってきました。同時に、より良い内容にするため、私自身も珠算のみならず、様々なことに見

聞を広めていく必要があると感じています。本やインターネットなどから情報を得て自分なりの意見をまとめていこうと思っています。

本日は、広報委員の仕事の中には、写真を撮るといふ業務がふくまれています。しかし、情けないことに、私にとつて、写真は全くの苦手分野。センスがないと諦めています。写真は、川原井先生と松岡先生がプロ級の腕前なので、お任せする(本当に申し訳ないです)ので、文章でお役にたちたいと思っています。

全国珠算新聞では「珠のたより」という、一般紙でいうと「コラム」のような記事があります。その記事を半年に一度、当番制で執筆することになっています。PRも兼ねて、静岡県のネタを盛り込めるといいなと思っています。私は静岡県出身ではないですし、中部地区以外のことは、知らないことがたくさんあります。何か良い情報がありましたら、教えてください。また、その他広報関係で、ご意見ご要望がございましたら、お寄せください。静岡県支部の先生方のバックアップをいただける大変心強いです。

素晴らしい「そろばんのチカラ」を全国に発信すべく、広報委員の仕事を精一杯務めさせていただく所存です。

最期の将校生徒

静岡地区 中林 正隆



昭和二十年三月二十八日夕、私は町内の皆様の歓呼の聲に送られて家を出た。二十六日に満十四歳の誕生日を迎えたばかりで静岡中学校（現静岡高校）二年を終了し大阪陸軍幼年学校に入校するためであった。

静岡駅を午後八時頃の満員の夜行列車に父と同乗した。

徴兵検査を待たず一足先に軍籍に身をおき祖国に殉ずる覚悟であった。

翌朝大阪駅に到着、環状線で天王寺下車、阿倍野橋から古市経由長野線で汐ノ宮に到着、宿舎に一泊し翌三十日幼年学校に向い身体検査に合格、仮入学を許された。その時の体重がなんと二十九・五キロであった。（二週間後の検査では三十四キロとなっていた。）

軍服を着用し控え室で待つ父親に對面、挙手の敬礼をして別れた。

これが父との今生の別れとの悲哀はなかった。

四月一日入学式、晴れて将校生徒としてスタートした。

陸軍幼年学校は全国に六校あり中学一・二年終了で受験して入り三年間勉強して陸軍士官学校へ進み、将来将校が期待されていた。

五時半起床、上半身裸で集合、乾布摩擦、体操の後点呼、勅諭奉読、遙拝、報国神社参拝、掃除、兵器点検、六時四十五分朝礼、朝食、午前中、学科の授業、音楽もあった。

午後は銃剣道、体操、教練等の実科である。

そして夜は自習二時間と起床ラッパから消灯ラッパまでラッパに迫いまくられ毎日が緊張の連続であった。

特に夕食後の軍歌演習はかなり堪えた。口移しで教える沢山の軍歌を早急に覚えろと責められ、夕食が憂鬱な一時であった。

中には厠（カワヤ、便所のこと）で練習をして叱られるものも出た。

カワヤも洋式ではなく所謂ポットン便所であったから何をか況やであった。

七月十九日、初めて「音楽」の授業があり、何か歌を歌わせられた。

教官から「皆さんの歌は「歌」ではありません、ただ怒鳴っているだけです」とたしなめられた。

戦後の大阪陸軍幼年学校の同窓会で、懐かしい軍歌を各期毎にカラオケ（モニター無し）で怒鳴った？が全期とも曲に合わせることが出来なかった。

私もその一員で我が家に糠味噌を置くことが出来ません。

それでも軍歌を一人前に怒鳴れるようになり、日課も追われるのではなく追って行けるようになり、夕食も楽しくなった。

戦局は沖繩戦の破局を向かえ、空襲も頻繁になり、大阪の大空襲を切齒扼腕して展望、裏山に防空壕掘りなど防空作業、裏山での授業、米軍機の機銃掃射も体験、一学期を終了、三泊四日の家庭訓練（帰省を行う事となった。父母との別れをとの配慮であった。七月二十二日出発、静岡へ向かった。）

静岡は六月十九日、二十日の空襲で被災していたが、家族全員が無事との便りは受けていた。

名古屋、豊橋、浜松、一面の焦土であった。いよいよ静岡、見事に焼き尽くされた静岡に到着した。

家族は一面の焼野原の中、竹で作ったバラックに住んでいた。

被災時は建物疎開で出来た空き地に父が掘った一坪（二・三平方メートル）の防空壕で一家六人と、逃げ遅れ助けを求めた十人、あわせて十六人が、壕に入ってきた煙に巻かれて苦しんだが、決死の覚悟で扉を開けて助かったそうであった。

静岡の空襲では安部川に逃げて被弾した人、壕で死んだ人などで二千人程の死者が出たそうである。

火の雨で

散るや哀しき

さくら草

私が、出征前に家の床下に掘った壕に家族が入っていたらと思うと感無量であった。

小学校の先生、知人などに挨拶を済ませて帰校した。

私は帰りの列車も特に問題もなかったが、途中空襲にあい、軍服を焦がしたり、銃剣を紛失したり、列車が不通になり迂回を余儀なくされたりさまざまの体験をしたのもいたが全員無事に再会した。

八月六日、広島が、八月九日に長崎が新型爆弾で大被害を受けたことを知らされた。これは「原子爆弾だ」と即座に言った同期生がいた。終戦後新聞で知り、改めて博識の生徒がいたのだと認識させられた。

八月十五日、疎開準備中の河内長野の楠木正成ゆかりの観心寺から帰校し天皇陛下の玉音放送を拝聴した。

雑音の中、かすかに聞こえる「堪え難きを堪え、忍び難きを忍び・・・」のお言葉に重大さを感じた。自習室に戻り改めて敗戦を知らされた。

翌十六日夕刻自習室に四十九期全員が集められ、全員の緊急退去を言い渡された。

関生徒監は「惜別の杯を」と、赤葡萄酒をコップに注いでは全員の頭上に

撒布した。紅の酒滴が頬を伝い芳香が部屋に満ちた。

全員軍服を脱ぎ運動着に着替えて大阪に向かつて学校を出た。終電も過ぎ、黙々と歩いた。古市で朝を迎え、榛南出身の若杉君と駅長に談判、関西線に乗車、名古屋経由で帰郷した。

関西線沿線ののどかな山村風景が印象に残った。

主要都市の焦土の中、焼夷弾、爆弾、更に艦砲射撃を受けた浜松の惨状は目に余った。

放心状態で過ごしているとき、「解散式挙行直ちに帰校せよ」との電報が届いた。早速出発したものの、満員列車の連続で静岡駅に足止め、翌朝一番列車にやっと乗ることが出来、学校に着いたのが時刻八時だった。

八月三十日、解散式、再起を誓ってそれぞれの故郷に向かった。

線香花火のような百五十日、軍国少年の夢は果敢なく消えた。しかし、充実した体験は今も折に触れて脳裏をよぎる。

あれから七十年、二歳のとき医者に見離され、更に、人生十五年と覚悟した私がまだ生かされている。不完全燃焼を振り返り後悔が次から次と思ひ出され、まだ使命を果たしていないと感ずる今日この頃である。

北遠みまぐち町の紹介

北遠地区 三石テル子



北遠地区の中でも最北端にある水窪町は、天竜から国道一五二号線を北へ曲がりくねった道を左右に杉の木と川を友として車でおよそ一時間程登ると家並が見える。

世帯数一一三七戸、人口二三〇三人の小さな町です。

北は長野県、西は愛知県に接する県境の町北遠の果てではあるが、空気は美味しく、山合いから流れる川の水は澄んでいる。春はまばゆし新緑、秋ともなれば四方の山々は鮮やかな紅葉に染まります。川の流れる音、小鳥のさえずり、遙か遠くで聞こえていたウグイスも、今では庭木に姿を現わし美しい声を聞かせてくれ自然の美しさを身近で感じられます。小さな町ながらも奥深い水窪を少しでも知っていたいため、資料を参考に紹介したいと思ひます。

「高根城」

一五世紀初頭、水窪一帯を支配した奥山氏が築いたとされる山城、その後武田信玄の天下取りの野望により大改修された、約四五〇年の時を経て町の観光事業により復元、物見櫓からは町の中心部を一望できます。

「山住神社」

標高一〇七メートルの山住峠に鎮座する。約一二八〇年前、伊予の国大三島(愛媛県)大山祇神社より移し祭られた、境内には県の天然記念物の樹齢一三〇〇余年の巨大大杉が見事です。

「足神神社」

足神様は七〇〇年の昔、北条時頼の足痛を癒したことから祭られた神社、全国から足が丈夫になるよう祈願する人が訪れます。

「池の平」

標高八〇〇メートルの普段は水の無い山頂の窪みに七年に一度突然水が湧き出る幻の池。遠州七不思議の一つ、神秘的で女神になった気分になります。

「布滝」

男性的で素朴な景観が多い水窪でも華麗で女性的なスポット、滝のある河内川の谷間「切り通し」は、春はヤシオツツジ、秋には紅葉で白い布を引いたような滝をいつそうひきたててくれます。

「水窪ダム」

岩と粘土を積み上げた日本では数少ないロックフィル式ダム。ダム湖は、ワカサギ、コイ、ヘラブナの釣りの名所、秋は紅葉が湖面に写り描きたい気持ちになります。

「青崩峠」

遠州と信州を結ぶ旧街道(塩の道)の難所。一〇八二メートルの峠の一带は、景観が素晴らしいハイキングコースがあります。

「峠の綱引き」

静岡県と長野県の県境争いとして楽しむ、年に一度の峠での「国盗り綱引き合戦」十月に三本勝負で行われます。遠州軍の通算成績は十三勝十六敗で仮りの国境を示す立て札が毎年一メートル動かされ、信州軍に計三メートル押し込まれています。残念!!

「巨木栃の木」

幹回り八・七メートル、高さ三十五メートル樹齢不詳(数百年)全国でも有数の巨木の栃の木、落葉高木で五月頃には白い花を咲かせる。旧水窪町の「町の木」。香りを食する栃餅はこれもまた絶品。

山に囲まれた水窪も八月お盆には若連による笛や太鼓に舞う虫送り供養、念仏供養、たいまつ火の火が心をしずめます。

九月には、町をあげての「みさくぼ祭り」四部落中心の屋台のひきまわし、仮装行列はこれ又見もの、スケールの大きいものから個人まで、四ヶ所の審査会場で高得点をねらいます。一年分のエネルギーをつぎこみ、老いも若きも心一つになる一時です。

にぎやかな祭りも終り落葉が風のいたずらに道の片すみにおいやられ、冷

たい風にはく息も白くなる頃は静かな町へともどります。
「北遠の果て雲白く、山高きところ古城の跡に、若草は萌え希望の歌は高らかに響く……」
高根城を目の前にして今日も又水窪中学校の校歌が流れてきます。川の流音と共に……。

二月・三月の行事予定

- ◎二月七日(日) 第四回 段位審査会
- ◎二月十一日(木) 第三〇回 教材教具研究会
- ◎二月十四日(日) 予算編成会議
- ◎二月二十八日(日) 第三七一回 暗算一、八級検定
- ◎三月十一日 静珠協珠算検定
- ◎三月十三日(日) 第四回 正副支部長会
- ◎三月二十日(日) 第四回 執行部長会
- ◎三月二十二日 全珠連珠算検定
- ◎三月二十二日 暗算段位検定
- ◎三月二十六日(土) 珠算指導者教養講座(愛知)
- ◎三月二十七日(日) 第六二回 全国珠算研究集会(愛知)
- 第五回 段位審査会

総務・厚生だより

- ◎お見舞い申し上げます
高林 靖子先生(北遠地区)ご本人様
倉田 弘之先生(浜松地区)ご本人様
- ◎お祝い申し上げます
伊藤てる子先生(北遠地区) 米寿
原 絃代先生(三島地区) 傘寿
西山 芳範先生(富士地区) 傘寿
田島 政夫先生(清水地区) 傘寿
鈴木 久代先生(志榛地区) 傘寿
倉田 弘之先生(浜松地区) 傘寿
高林 涌子先生(浜松地区) 傘寿
石井 敏明先生(賀茂地区) 喜寿
小林 早苗先生(静岡地区) 喜寿
田島喜美代先生(中遠地区) 喜寿
荒木田富枝先生(浜松地区) 喜寿
加藤 尚三先生(浜松地区) 喜寿
望月 公子先生(清水地区) 古希
山本志津子先生(静岡地区) 古希
山田 光子先生(志榛地区) 古希
中村美江子先生(浜松地区) 古希

昇段者氏名

◎第三六九回 珠算検定試験

十段 鐵 紀花

城南静岡高校二年

十段 大橋 明紘

静岡県立浜松商業高校二年

◎第三七〇回 珠算検定試験

参段 星野なぎさ 伊東西小六年

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 八段 野澤 優志 静岡清水船越小六年 | 八段 杉田 隆 浜松都田中二年 |
| 七段 忠内 菜摘 県立浜松商業高三年 | 七段 菅沼 立鶴 県立浜松商業高二年 |
| 七段 清水 裕貴 浜松湖東中一年 | 七段 針谷 奏斗 浜松浅間小六年 |
| 六段 松本 有里 浜松中瀬小五年 | 六段 池谷 匡史 浜松都田中二年 |
| 六段 田村 拓哉 静岡竜爪中三年 | 六段 太田 陽菜 浜松都田中二年 |
| 六段 刑部 絢香 県立浜松商業高一年 | 六段 狭間 琢光 裾野東小五年 |
| 五段 柴田 真衣 浜松佐鳴台小五年 | 五段 成澤 菜由 静岡長田南小六年 |
| 五段 有賀 愛華 静岡西豊田小五年 | 五段 高谷 瑠海 浜松大瀬小六年 |
| 四段 鈴木萌乃佳 静岡服織小六年 | 四段 山崎 滯 浜松篠原小六年 |
| 四段 杉本 茉央 静岡服織小五年 | 四段 永島 実奈 静岡蒲原東小六年 |
| 四段 宮部 柚輝 藤枝高洲南小六年 | 四段 石上 昇汰 静岡大里西小六年 |
| 四段 望月 咲良 磐田豊田南中二年 | 四段 望月 咲良 磐田豊田南中二年 |
| 四段 池田 祐衣 磐田青城小五年 | 四段 西崎未佳捺 磐田青城小三年 |
| 四段 菅沼 立鶴 県立浜松商業高二年 | 四段 井上 玲 浜松佐鳴台小五年 |
| 四段 藤森 香奈 県立浜松商業高一年 | 四段 山本 裕喜 浜松下阿多古小五年 |
| 四段 渥美 里菜 浜松葵西小六年 | 四段 木又 健太 富士吉原北中一年 |
| 四段 川合 咲良 浜松積志小六年 | 四段 上紺屋日依 静岡清水船越小五年 |
| 四段 松本 日菜 浜松雄踏小六年 | 四段 内山侑万里 静岡清水第三中一年 |
| 四段 原 菜々美 伊東南小五年 | |
| 四段 斎藤 七海 静岡清水小五年 | |
| 四段 佐藤優貴子 掛川第二小六年 | |
| 四段 坂下 大河 浜松雄踏中二年 | |
| 四段 針谷 奏斗 浜松浅間小六年 | |
| 四段 池谷 優良 浜松浅間小六年 | |
| 四段 田中 莉久 浜松葵西小六年 | |
| 四段 水島 蓮 浜松葵西小六年 | |
| 四段 土居 愛実 浜松広沢小六年 | |
| 四段 伊藤菜々佳 浜松鴨江小四年 | |
| 四段 北嶋 嶺 浜松中郡小六年 | |
| 四段 岡本 羽奈 県立浜松西高中等部二年 | |

◎第三七〇回 暗算検定試験

編集後記

第三六五号から編集を担当して、やっと、第三六八号。「誤字脱字はないだろうか？」毎号、印刷所に相談をし、アドバイスをもらいながら、なんとか発行できている状態です。

先日、浜松地区の荒木田富枝先生

多々良悠輝	焼津豊田中二年
山田茉莉那	静岡附属島田中二年
増田 京華	掛川城北小六年
鈴木 堅斗	浜松中郡小六年
植田 航成	浜松西小四年
川島 慶大	浜松積志小五年
坪井 駿	浜松村楠小五年
池谷 優良	浜松浅間小六年
水島 蓮	浜松葵西小六年
井口 修作	浜松雄踏小五年
矢野 彪太	浜松雄踏小四年
鈴木結美子	浜松新津小六年
一宮 莉子	伊東富戸小六年
高藤利玖也	裾野東小六年
岡村 歩璃	静岡富士見小六年
有賀 羽奏	静岡豊田中一年
杉本 奏菜	藤枝青島東小六年
夏目 琴実	浜松与進北小六年
田中 莉久	浜松葵西小六年
伊藤菜々佳	浜松鳴江小四年
掛井 結菜	浜松伎倍小五年
薩摩 未来	浜松北浜北小六年

第370回 全珠連【珠算】検定試験受験者数報告書

○囲みの数字は受験料免除者 試験日：段位～15級：平成27年11月29日施行

地区	段位	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	12級	13級	14級	15級	合計	前年同期
賀茂	3	1	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	1	2	0	1	14	25
東豆	21	8	16	14	6	10	6	3	4	2	2	0	0	0	0	0	92	104
三島	12	7	5	16	13	9	13	7	7	7	4	0	2	1	0	3	106	128
沼津	21	18	15	15	18	15	26	8	20	26	14	5	8	4	9	10	232	179
富士	12	5	8	16	7	5	5	3	2	3	1	0	0	0	0	0	67	68
清水	13	8	8	9	12	9	11	11	9	10	7	4	3	3	2	0	119	134
静岡	39	28	25	45	①28	②25	24	22	①15	10	4	2	1	0	1	0	④269	341
志太榛原	37	11	26	31	8	7	18	7	13	12	4	0	0	0	0	0	174	185
中遠	31	24	35	①42	②9	⑥7	③10	③9	⑤7	⑥5	④4	2	0	0	0	0	⑩185	147
浜松	142	54	68	88	27	24	38	34	28	4	2	0	0	0	0	0	509	508
北遠	36	31	38	26	20	9	23	14	21	7	3	0	0	0	0	0	228	250
合計	367	195	244	③302	③148	⑧120	③174	③119	⑥128	⑥86	④47	14	15	10	12	14	⑨1,995	2,069
前年同期	352	①219	①241	①304	⑥142	⑦174	⑦170	④140	⑧141	②73	④47	9	11	12	23	11	④2,069	

が、私の父（故園部凱夫）が、編集をしていた時の『そろばん静岡』を懐かしい父の書体で宛名書きされた封筒と共に持ってきて下さいました。

第370回 全珠連【暗算】検定試験受験者数報告書

段位：平成27年11月29日施行 1級～8級：平成27年12月20日施行

地区	段位	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	合計	前年同期
賀茂	3	0	2	1	3	2	2	3	2	18	10
東豆	16	13	21	26	10	20	15	0	0	121	93
三島	4	7	3	5	6	10	5	6	1	47	39
沼津	15	3	7	12	16	20	9	4	9	95	54
富士	3	3	6	8	7	7	4	0	0	38	60
清水	16	1	2	10	11	15	7	4	0	66	68
静岡	24	8	9	13	16	17	19	1	6	113	96
志太榛原	15	3	8	22	26	38	16	3	0	131	114
中遠	23	15	16	21	22	10	20	4	0	131	130
浜松	93	39	25	41	43	58	37	1	0	337	295
北遠	23	12	10	14	21	18	15	0	0	113	127
合計	235	104	109	173	181	215	149	26	18	1,210	1,086
前年同期	222	86	127	156	162	168	145	14	6	1,086	

文章を書くのが好きだった父のように、できないけれど、精一杯頑張ろう、と、あらためて思っているところです。

『そろばん静岡』を皆様により身近に感じていただきたい。その為には何をしたらよいのだろう。そこで、執筆者の顔写真を載せさせていただこうと思いました。顔が見えた方が記事を読んだ時にわかりやすいし、執筆者の御

第370回 静珠協珠算検定試験受験者数報告書

4級～10級：平成27年12月20日施行

地区	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	合計	前年同期
賀茂	1	1	0	4	1	1	2	10	5
東豆	12	19	7	6	10	1	3	58	75
三島	12	12	7	9	7	6	6	59	53
沼津	4	2	3	5	3	1	2	20	16
富士	5	5	6	10	3	3	0	32	28
清水	1	3	2	0	2	2	3	13	26
静岡	10	13	16	13	11	14	8	85	92
志太榛原	15	8	14	5	12	3	3	60	65
中遠	9	4	10	14	12	7	4	60	64
浜松	42	41	45	29	16	9	5	187	163
北遠	16	14	11	12	13	2	7	75	48
合計	127	122	121	107	90	49	43	659	635
前年同期	116	110	129	108	86	42	44	635	

苦勞（私だけの感想？）に少しでも報いたいとの思いからです。

新聞は、記事が集まらないことには、発行ができません。ご自分の事、珠算に関する事、その他何でも構いません。何号に載せられるのか、お約束はできませんが、是非、私達みんなの『そろばん静岡』に記事をお寄せ下さい。もちろん、顔写真と共に。

（山田佳世）